数学科教育法４（３２１）　　学習指導案

↑　どれかひとつ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導教官　　　堀部　和経　　　印

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導者　　　　〇〇　〇〇　　　印

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 A99999

1. 日　時　　　　平成３０年　〇月〇〇日（木）　第◇時限目
2. 学　級　　　　大同高等学校　第１学年　Ｘ組　（男子２０名・女子２０名）計４０名
3. 科目名　　　　数学Ⅰ
4. 教　材　　　　「数学Ⅰ」（〇〇〇〇）
5. 単元名　　　　　第〇章　 空間のベクトル
6. 〇〇の〇〇〇

　　Ａ　　□□の□□

　　　　　　　　　　Ｂ　　◇◇◇の◇◇　　←（本時）

　　　　　　　　　　　　　　Ｃ　　〇〇〇

1. 単元の目標　　ベクトルについての基本的な概念を理解し、基本的な図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにする。
2. 本時の目標　　３点が１直線上にあるための条件、３点が同じ平面上にあるための条件を利用し、空間における任意のベクトルを１通りに定める計算ができる。

８．指導計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階　 | 時間 | 学　習　内　容 | 学　習　活　動 | 指導上の留意事項／評価の観点・方法 |
| 導入 | 10分 | 前時までの学習内容の確認 | 空間内の点の表し方を確認する。・３点が一直線上にあるための条件・共面条件 | プリントを配布する。 |
| 展開 | 35分 | 本時の内容の確認点が平面ＡＢＣにある条件（共面条件）の利用 | 教科書ｐ６８　応用例題３の問題（一部変更あり）を図を確認させながら解く。(1) をで表す。(2) を求める。を２通りの方法で表すことを考える。(3)　ＯＰ：ＰＨを求める。 | 点Ｐの位置を確認し２通りの表し方を考えさせる。机間指導をしながら、個別指導する。が１次独立であることを確認し結局ただ１通りに表されることを確認する。

|  |
| --- |
| 表現・処理図や誘導部分から２通りの立式ができるか、机間指導により確認する。 |

 |
|  | 教科書ｐ６８練習２２を解く。 |

|  |
| --- |
| 関心・意欲・態度本時の学習内容を理解し、積極的に問題に取り組むことができるかを把握する。 |

生徒を指名し、解答の板書を指示する。 |
| 整理 | 5分 | 本時の授業の確認次時の予告 | 本時の授業の確認を行う。 | 空間内の任意のベクトルはパラメータを用いて一通りに表現することができることを確認する。 |

　　　　　↑　計５０分にする

９　ご高評